

# NEW SONG

新生讚美歌ニュースレター

## へだてを超える礼拝 ～私たちの献身～

宇都宮 毅（釧路教会・教会音楽専門委員）

イエス・キリストの復活を記念した日曜日の朝、私たちは教会に向かって、礼拝を献げるために、自宅を出発します。時間とお金、労力を用いて、私たちは礼拝に向かうのです。

礼拝とは、何でしょうか。日常の出来事なののでしょうか。それとも日常から切り離された夢のような出来事なののでしょうか。毎週、毎週、神と人、人と人との十字が礼拝において、キリストを中心に、交差していきます。ただ分かっていることは、この世において、価値観や経験、年齢など多くの違いを持ち、言葉も思いも伝え合うことがなかなかできない私たちが、一つの礼拝を形作ろうとしているということです。毎週、私たちは確かに、そこに立つのです。

しかしなんと、礼拝とは、この世において、異質なものでしょう。この驚くべき私たちの礼拝は、一回では終わらないのです。この世において、すぐに分裂してしまうような私たちが、そこに歴史を重ね、立ち続けているのです。そこでは、まさに神の出来事が起こっているとしか言えないではないでしょうか。私たちの間にはへだてが存在しています。そのへだてがあるにもかかわらず、私たちは礼拝を成そうとしているのです。いいえ、へだてがあるからこそ、礼拝を献げるのです。

今年の8月天城山荘にて、25年ぶりに、全国礼拝音楽研修会が行われます。その言葉からは、礼拝音楽に携わる者だけの集会であるかのように聞こえてきます。ここにもへだてが存在しています。しかし、そもそも礼拝音楽奉仕者はすべての教会員であるのです。必ず私が立っている場所があるのです。礼拝の持つすばらしさと凄まじさを私たちはこの研修会で、み言葉から聞き、経験したいと思います。いつもはなかなか出会えない、また一つになれないキリストの友と共に。

# 新生讃美歌と私

～新生讃美歌53年のあゆみから～

## 第12回 『新生讃美歌』の「バプテスト」を求めて

江原 美歌子

『新生讃美歌増補』 『新生讃美歌増補』  
『新生讃美歌』(2003) 編集委員

1994年の秋、米国より帰国後声をかけていただき、新生讃美歌編集委員会の陪席から、『新生讃美歌』編集との関わりがはじまりました。日本バプテスト宣教100周年を記念して出版された1989年版発行時は米国留学中で、遠くの出来事であった私にとって、『新生讃美歌』との再会は、子どものころ、大井教会の特別伝道集会で歌っていた『新生讃美歌』と『新生讃美歌』、学生のころ手にして歌った『新生讃美歌』、『新生讃美歌』から少し時間が経ってのことでした。

初めは1日のみの懇談が中心の委員会でしたが、あるときから、話し合いばかりでは賛美歌集がいつまで経っても完成しないということで、にわかに作業が具体的になっていきました。まず取り組んだのは曲集めでした。思い思いに推薦する曲、賛美歌集を持ち寄ったものでしたが、会を重ねるごとにシステム化していき、徐々に委員会での作業が明確にされていきました。今でも、一緒に作り上げていった過程(プロセス)が一番の思い出となっています。

委員会の中で常に疑問に思っていたことがありました。それは、選曲する賛美歌の中で圧倒的にアメリカの曲(特定の年代と内容)が多いということです。米国の神学校の賛美歌学の授業では、賛美歌史全般を通して学んではいましたが、日本バプテスト連盟の賛美についてのテキスト(教科書)がないた

めに、それは素朴な疑問でした。答えを求めて個人的にバプテスト連盟の賛美歌ルーツ探しをはじめていきました。

もうひとつの問いは、「バプテストの賛美歌集はどうあるべきか?」ということです。委員会で、幾度となくそれを投げかけ話し合う機会を得ましたが、その中で出された多くの意見は「バプテストの賛美歌集がこうあるべきといっても、ひとつの形に決めてしまった時点でそれはバプテストではなくなる」というものでした。この課題は編集委員時から今日に至るまで持ち続けている私の中での大きなテーマとなっています。

さて、新生讃美歌編集委員会そして事務局はその後、選曲、削除する賛美歌選曲、校正、メールのまだ普及していない中での著作権申請手続き、楽譜データ作成、カバーのデザイン決定、その他膨大な作業に追われ、作業の遅れから発行日を止む無く延期しつつも、多くの方々の祈りの中、導かれて2003年7月に『新生讃美歌』(2003)を発行するに至りました。初めて『新生讃美歌』(2003)を手にしたときの感動は今でも忘れられません。そして、その翌年の6月から、この賛美歌集を推進するようにと教会音楽主事として任命され、普及に務めております。

普及するにあたって、まず取り掛かったことは『新生讃美歌』がどのような賛美歌集

---

 ~ 新生讃美歌のあゆみ ~

日本バプテスト連盟創立	1947年
「新生讃美歌」	1957年
「新生讃美歌」	1963年
「新生讃美歌」改訂版	1966年
「新生讃美歌」	1982年
「新生讃美歌」	1984年
「新生讃美歌」	1989年
「新生讃美歌増補」	1997年
「新生讃美歌増補」	1999年
「新生讃美歌」	2003年

---

であるかを知ることでした。知らずしては推進ができないからです。一番のアプローチは歴史から紐解くということでした。1800年代のアメリカからの宣教師の伝道活動によって賛美が多くもたらされたことを通して、私たちの賛美歌ルーツを確認し、慣れ親しんだ賛美歌に米国賛美歌が多いことの疑問が解かれました。また、連盟の定期総会にて決議された賛美歌編集ということから、どのような必要性、要望を受けて編集が始まっていったかを知りました。これまで選曲されたたくさんの賛美歌からは、歴史を通じて連盟の宣教課題が表されていることを知りました。そして今回の編集では1989年版の評価から「礼拝の賛美歌の充実を」という声を受け、たくさんの礼拝の賛美歌が選曲されました。バプテスト連盟諸教会の声によって、バプテストの賛美が、『新生讃美歌』が育まれてきたのです。

これらの『新生讃美歌』～2003年版を知るプロセスやデータ、収録された曲からのメッセージ、そして専門委員会、新生讃美歌評価会での協議を通して、導かれた『新生讃美歌』の4つの特徴は、1)伝道の歌、2)礼拝、3)新しい歌、世界の歌、4)連盟の諸教会の声による賛美歌集、です。53年に亘り、日本バプテスト連盟諸教会の声を通して、その時々に応じて作られてきた賛美歌集には、日本バプテスト連盟の歩みとその特徴が色濃く現れていることに気づかされます。そして

これからこの「特徴」に加えて、私たちはどのような新たな課題を受けて『新生讃美歌』を推進していくのでしょうか？それを模索していくにあたり、「礼拝音楽研修会」では、礼拝と礼拝での賛美について学び、また、賛美歌検討委員会では、2003年版の賛美歌の評価と現代の賛美歌の動向研究を継続しています。研修の場、検討の場、研究の場を提供しつつ、あらたなステップを求めて『新生讃美歌』推進に尽力したいと願っています。

最後に「第七回全国礼拝音楽研修会」のアピールです。分科会「会衆賛美を豊かに～新生讃美歌を用いて」では、たくさんの曲を紹介し、ひたすら歌うときを持ちます。また賛美歌ゼミでは、賛美歌の特徴を学び、賛美歌の機能や、また選曲について学びます。そして、新設分科会として「教会形成と賛美歌」で現代の宣教課題に即して必要な言葉をつむぎ賛美歌にしていきます。いろいろな角度から『新生讃美歌』に触れ、それぞれの教会の礼拝賛美を豊かにするための研修を計画しています。みなで作る賛美歌集の伝統を受けて、たくさんの方の参加を期待しつつ、この歩みをさらに豊かにしていきたいと願っています。

(相模中央教会音楽主事・  
連盟宣教部教会音楽室長)

## 第7回全国礼拝音楽研修会へのお誘い その2

2010年8月23日～25日(月～水) 於:天城山荘

基調講演講師: 濱野道雄(日本バプテスト連盟宣教研究所 所長)

研修会テーマ: へだてを超える礼拝 ～わたしたちの献身～

ご案内第2信(申込書・振込票同封)はお手元に届きましたでしょうか?

4月28日の全国発送でお送りしております。ご確認下さい。または、連盟ホームページからダウンロードすることもできます(連盟関係者のページ内)。お申込みをお待ちしています!

今回の研修会は、「バプテスト キッズ ミュージカルキャンプ」も同時開催!

今年の夏は、天城に集まれ! 学んで祈って楽しんで、一緒に神様を賛美しよう!



### 「バプテスト キッズ

### ミュージカルキャンプ」のご案内

(第七回 全国礼拝音楽研修会 子どもプログラム)

### みんなでミュージカルをつくろう!

ミュージカルは歌とお芝居がいっしょになった楽しい音楽劇。

今回のキャンプはミュージカルキャンプ! みんなでミュージカルを作ります。

歌ったりセリフを言ったり、道具を作ったり.....。

わたしたちはだれを礼拝するのでしょうか?

だれと礼拝するのでしょうか?

今回は、本当の神様を礼拝することをえらんだ人たち、ダニエルさんと

そのお友だちのことをミュージカルにします。

歌うこと、踊ることが大好きな人、あつまれ!

テーマ: 「神さまを礼拝する人」

主題聖句: ダニエル書3章17節

「わたしたちのお仕えする神は、その燃え盛る炉や王様の手から

わたしたちを救うことができますし、必ず救ってくださいます。」

リーダー: 秋山献一先生(三鷹教会)、荒井三枝子先生(常盤台教会)